

(平成16年度支援)

原状回復事業実績事例：北海道虻田郡京極町硫酸ピッチ事案

事案の類型	無許可業者による硫酸ピッチの埋立処分
事案の場所	北海道虻田郡京極町内
行為者	北海道伊達市内 A
規模及び種類	投棄面積；約305m ² 投棄量；ドラム缶 約230本 ドラム缶詰め硫酸ピッチ
支障のおそれ	投棄された硫酸ピッチが地下浸透し、強酸性の浸出水により、京極町の水道水源であり、環境省の名水百選に選定された「名水ふきだし湧水」が汚染されるおそれがある。汚染された場合には、水道水源として利用できなくなるおそれがある。
対策工の概要	当該現場において、投棄量の把握のために掘削・一時保管を行った。掘削した硫酸ピッチ及び付着土砂等を投棄現場において中和処理を行い、処理業者の焼却施設にて焼却処分を行った。
除去した廃棄物の種類及び量	搬出量；570.07t 硫酸ピッチ及び付着物，金属くず，廃プラスチック類
代執行費用	24,150,000円
支援した資金額	18,112,000円

湧水池付近の状況



撤去前



撤去後



【事案概要】

北海道の羊蹄山麓の採石場内に硫酸ピッチ入りドラム缶を埋立処分した旨の情報が北海道警察に入り、道庁と道警察が合同で現地確認及び検証を行い、投棄事実を確認した。掘削調査を慎重に行った結果、一部のドラム缶から硫酸ピッチの漏出が確認できたため、ビニール袋とフレコンバックに詰め替えてシートで梱包して敷地内に一時保管した。北海道は、北海道警察と連携して、行為者のAを特定し、排出事業者及び運搬関与者等を調査したが明らかにならなかった。

当該現場は、京極町住民の飲料水の水源である「名水ふきだし湧水」の上流約600mであることから、行為者に対して措置命令を発し、硫酸ピッチの撤去を求めたが子供の学校の経費を友人に借金するほど資金がないことから措置命令は履行されなかった。

北海道は、羊蹄山麓の名水の影響を考慮して、生活環境保全上の支障を除去するため、代執行により廃棄物を全量撤去した。

掘削調査・回収



保管状況

